



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月28日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
 コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,927	10.0	817	62.1	810	64.6	521	73.5
2022年3月期第1四半期	2,661	△19.4	504	△19.2	492	△19.1	300	△35.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 522百万円 (73.4%) 2022年3月期第1四半期 301百万円 (△35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.35	18.34
2022年3月期第1四半期	10.53	10.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,894	4,949	49.5	172.30
2022年3月期	9,653	4,574	46.9	159.06

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,899百万円 2022年3月期 4,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	23.5	2,000	25.7	1,900	23.2	1,200	48.6	42.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	29,072,696株	2022年3月期	29,072,696株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	637,366株	2022年3月期	637,366株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	28,435,330株	2022年3月期1Q	28,550,949株

(注) 株式会社日本カストディ銀行(以下、「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式613,300株(議決権の数6,133個)につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年7月28日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運営を行っております。また、メディア事業においては、次世代の主力事業創出を目的とした事業開発を行っており、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高2,927,195千円（前年同期比10.0%増）、営業利益817,189千円（前年同期比62.1%増）、経常利益810,539千円（前年同期比64.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は521,831千円（前年同期比73.5%増）となり、各利益は、過去最高となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は以下の通りです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、8周年を迎えた当社主力タイトルの1本であるIPゲームタイトルがグローバルで好調に推移し、収益に貢献いたしました。

売上高につきましては、当社主力IPタイトルがグローバルで好調に推移したこと、昨年度に新規タイトルをリリースしたことに加え、その他の運用中タイトルが競合タイトルとの厳しい戦いを強いられる中でも堅調な推移を維持したことから、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、主力タイトルの増収影響に加え、一部の不採算タイトルをクローズしたこと等により、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は2,852,416千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は892,398千円（前年同期比52.1%増）となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努めるほか、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指して参ります。

メディア事業

メディア事業においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が順調に事業規模を拡大し、収益に貢献いたしました。また、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化に注力するため、出版・映像事業というゲーム以外のエンターテインメント領域での新規事業に注力しております。また、Web3領域における新たな事業開発にも注力しております。

売上高につきましては、『Rooot』が順調にサービスを拡大しており、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、業績拡大への大きなチャンスと捉え積極的に新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しておりますが、増収効果で損失額は前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は74,778千円（前年同期比252.7%増）、セグメント損失は75,209千円（前年同期はセグメント損失82,698千円）となりました。当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、今後も積極的な研究開発投資を促進して参ります。

今後につきましては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組むほか、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指してまいります。また、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力し、IPを軸とした総合エンターテインメント企業へ成長してまいります。さらには、既存事業とWeb3領域を融合させることで、成長戦略を推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末における流動資産は6,617,684千円となり、前連結会計年度末に比べ148,324千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が523,488千円減少したものであります。固定資産は3,276,847千円となり、前連結会計年度末に比べ389,385千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが84,402千円減少したものの、ソフトウェア仮勘定が465,613千円増加したものであります。

この結果、総資産は9,894,532千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末における流動負債は2,752,689千円となり、前連結会計年度末に比べ42,772千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が82,810千円減少したものの、短期借入金66,500千円、未払法人税等が44,921千円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は2,192,151千円となり、前連結会計年度末に比べ177,327千円減少いたしました。これは主に長期借入金175,750千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,944,841千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は4,949,691千円となり、前連結会計年度末に比べ375,616千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益521,831千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.5%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737,225	4,213,736
売掛金	1,485,317	2,054,364
仕掛品	10,144	9,553
前払費用	157,555	141,781
その他	375,766	198,247
流動資産合計	6,766,009	6,617,684
固定資産		
有形固定資産		
建物	184,236	189,829
減価償却累計額	△13,603	△17,787
建物(純額)	170,632	172,041
工具、器具及び備品	69,030	73,424
減価償却累計額	△33,995	△39,431
工具、器具及び備品(純額)	35,034	33,993
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△2,007	△2,282
リース資産(純額)	5,225	4,950
有形固定資産合計	210,891	210,985
無形固定資産		
ソフトウェア	557,325	473,922
ソフトウェア仮勘定	1,333,425	1,799,039
無形固定資産合計	1,890,751	2,272,962
投資その他の資産		
投資有価証券	7	59,926
繰延税金資産	465,737	385,390
敷金	199,404	199,404
その他	120,668	148,178
投資その他の資産合計	785,818	792,899
固定資産合計	2,887,461	3,276,847
資産合計	9,653,470	9,894,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	357,864	380,149
短期借入金	146,000	212,500
1年内返済予定の長期借入金	808,000	803,000
リース債務	1,281	1,281
未払金	579,036	497,878
未払法人税等	142,079	187,000
賞与引当金	138,497	55,687
その他	537,158	615,192
流動負債合計	2,709,917	2,752,689
固定負債		
長期借入金	2,014,000	1,838,250
リース債務	4,806	4,486
資産除去債務	100,000	100,000
その他	250,671	249,415
固定負債合計	2,369,478	2,192,151
負債合計	5,079,395	4,944,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,792,991	1,792,991
資本剰余金	2,050,152	2,050,152
利益剰余金	953,681	1,330,270
自己株式	△274,029	△274,029
株主資本合計	4,522,796	4,899,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	7
その他の包括利益累計額合計	7	7
新株予約権	49,067	49,067
非支配株主持分	2,203	1,230
純資産合計	4,574,075	4,949,691
負債純資産合計	9,653,470	9,894,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,661,328	2,927,195
売上原価	1,621,178	1,618,881
売上総利益	1,040,149	1,308,314
販売費及び一般管理費	535,996	491,125
営業利益	504,153	817,189
営業外収益		
受取利息	0	0
出資金運用益	98	4,106
その他	3	524
営業外収益合計	102	4,631
営業外費用		
支払利息	11,039	10,051
支払手数料	250	729
為替差損	524	-
その他	-	500
営業外費用合計	11,814	11,281
経常利益	492,441	810,539
税金等調整前四半期純利益	492,441	810,539
法人税、住民税及び事業税	67,379	207,758
法人税等調整額	123,768	80,346
法人税等合計	191,147	288,105
四半期純利益	301,293	522,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	580	601
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,713	521,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	301,293	522,433
四半期包括利益	301,293	522,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,713	521,831
非支配株主に係る四半期包括利益	580	601

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,640,125	21,202	2,661,328	—	2,661,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,640,125	21,202	2,661,328	—	2,661,328
セグメント利益又はセグメント損失(△)	586,851	△82,698	504,153	—	504,153

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,852,416	74,778	2,927,195	—	2,927,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,852,416	74,778	2,927,195	—	2,927,195
セグメント利益又はセグメント損失(△)	892,398	△75,209	817,189	—	817,189

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。